

平成28年度 県立津久井養護学校不祥事ゼロプログラム検証結果

	項目	目標	行動計画	検証結果
1	法令遵守の向上 【必須】	公務員倫理意識の徹底を図る。	6月の職員会議で啓発資料をもとに意識啓発を図る研修を実施する。	6月の職員会議で公務員のコンプライアンス、神奈川県職員行動指針を取り上げ、意識啓発を行った。今後も継続する。
2	わいせつ・セクハラ行為の防止 【必須】	ハラスメントは著しい人権侵害であることを理解し、人権感覚を磨く。	・7月の職員会議で啓発資料をもとに「わいせつ・セクハラ行為の防止」に対する意識啓発を図る研修を実施する。 ・8月26日に所属研修会を実施し、「わいせつ・セクハラ行為の防止」に関する研修会を実施する。	7月の職員会議で「スクール・セクハラ」を取り上げ、意識啓発を行った。また、8月26日には管理職が研修を行い、グループを作り、事例をもとにしたグループワークを行った。職員が自ら考えるワークが行えた。
3	体罰・不適切な指導の防止 【必須】	体罰・不適切な指導の根絶。	・8月の職員会議で啓発資料をもとに意識啓発を図る研修を実施する。 ・人権教育校内研修会として外部講師を招き、参加体験型研修を実施する。	8月の職員会議で体罰の事例を取り上げ、意識啓発を行った。また、8月31日には白梅学園大学、堀江まゆみ氏を招き障害者の人権について、「将来に向け学童期に身につける力/子どもたちはどんな時代を生きていくのか」とのテーマで具体的な研修を行い、合理的配慮について学んだ。
4	成績処理及び進路関係書類（地域支援・個別教育計画等含む）の作成及び取扱いに係る事故防止【必須】	マニュアルに基づく確実な業務の実施と点検体制の確立	9月の職員会議で資料をもとに意識啓発を図る研修を実施する。	9月の職員会議で資料をもとに行政文書の保存期間や、これまでにあった事例、不祥事のヒアリハットを防ぐための注意点を学び、意識啓発を図る研修を実施し、文書の重要性を再確認した。
5	個人情報等の管理、情報セキュリティ対策（パスワードの設定、誤廃棄防止）	個人情報の流出防止と情報管理の徹底。	・毎月、情報セキュリティー点検を全職員を対象に実施する。 ・10月の職員会議で啓発資料をもとに意識啓発を図る研修を実施する。	アンケートによる回答が形骸化しているため、Office365の活用、管理および管理職によるUSB確認を毎月行った。また、8月の不祥事防止研修会にて個人情報を含む情報管理の徹底を行い、10月、2月の職員会議で標的型攻撃の正しい理解とその対処について取り上げ、意識啓発を行った。今後も継続する。
6	業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	情報を共有するための具体的な方法とチェック体制のあり方について	11月の職員会議で啓発資料をもとに意識啓発を図る研修を実施する。	11月の職員会議で情報共有・相互チェック体制・業務協力体制を取り上げ、意識啓発を行った。特に協力体制として、各個人が業務を一人で抱え込まないよう確認した。今後も継続する。
7	交通事故防止、飲酒・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通事故防止、飲酒・酒気帯び運転防止のための啓発を行う。	12月の職員会議で啓発資料をもとに意識啓発を図る研修を実施する。	12月の職員会議で年末年始における教職員の綱紀保持についてを取り上げ、その重要性を再確認し意識啓発を行った。今後も継続する。
8	会計事務の等の適正執行	会計事務における不適正処理の防止。	・4月に私費会計担当者を中心に、私費会計事務の適正処理について周知を行う。 ・1月の職員会議で啓発資料をもとに意識啓発を図る研修を実施する。	4月に私費会計担当者を中心に、私費会計マニュアルについて周知した。また、1月の職員会議で私費会計の取扱いについて取り上げ、意識啓発を行った。適正な執行が行えている。今後も継続する。